

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		プロモーション事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040301001033
				単独/補助	補助		025101
						所属課	ヤマザクラ課
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興				課長名	
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				グループ	ヤマザクラグループ
	施策名	03 観光の振興				担当者名	
	手段名	01 ①観光資源の再発見とPR強化					
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業
法令根拠	さくら川百貨選定制度実施要綱(さくら川百貨事業関係)						
	単年度繰返し (年度~) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入						

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
地方創生推進交付金対象事業「桜川市の魅力・地域力をあますことなく発掘、創造、発信する地域商社設立事業」の令和2年度事業計画に位置付けられた「地域製品の磨き上げ・地域の魅力の発信・プロモーション(地域製品の発掘、サイクリングの誘客状況の実態把握)を推進する。 前年度「地域固有資源「ヤマザクラ」を核とした桜川市の稼ぐ力創造プロジェクト」	地域産品・地域観光資源発掘事業に係る業務 ・自転車利用の実態調査 ・地位産品発掘・PR ・地域製品の磨き上げに関する有識者招聘 ・ヤマザクラPR ・さくら川百貨事業 ・サイクリング事業(PR・自転車活用)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市プロモーション事業に係る業務 ・ヤマザクラPR ・さくら川百貨事業(選定申請品の募集、選定審査委員会の開催、選定品決定、選定品PR) ・サイクリング事業(自転車活用・交通量調査)	さくら川百貨選定審査委員会の開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民	桜川市の人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
「さくら川百貨」として選定し、桜川市内外へ魅力発信し、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋げる。	さくら川百貨選定品の件数	件	51.00	61.00	65.00	70.00	75.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	6,360	2,738	4,838	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	7,000	2,740	4,839	
			事業費計(A)	千円	13,360	5,478	9,677	
	正規職員従事人数	人	1.00人	4.00人	4.00人			

02年度事業費 実績(千円)

03年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	07 報償費	178		07 報償費	210
	10 需用費	521		08 旅費	20
	11 役務費	1,101		10 需用費	1,039
	12 委託料	1,531		11 役務費	920
	13 使用料及び賃借料	676		12 委託料	6,871
	17 備品購入費	1,471		13 使用料及び賃借料	617
		合計	5,478		合計

事務事業名	プロモーション事業	事務事業No.	40301001033	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地方創生推進交付金対象事業として、平成29年度から平成31年度までの3年間の継続事業として開始された。引き続き令和2年度から令和3年度までの3年間の継続事業として開始された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ふるさと応援寄付金の返礼品としての需要拡大。商品の売り場（買えるところ）の確保。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の総合戦略に位置づけられており政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産品の販路拡大や市のPR強化、ふるさと応援寄付金返礼品等の需要が見込まれる。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 地場産品の自家消費から市内流通、市外流通へと徐々に成果へと結びつくのは、年数等を必要とする。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域経済の循環に支障が伴い、桜川市の知名度向上、観光の振興、地域産業の活性化に繋がらない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地方創生推進交付金対象事業として推進する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	自転車利用の実態調査を行い自転車活用推進計画の策定時期を見直した。「さくら川百貨事業」では、選定委員会10/23において、地域産品61品(件)が選定され展示商談会2/17~2/19に出展した。また、稼ぐ地域づくり講演会8/21・11/24、フォローアップセミナー3/16を実施した。ヤマザクラのPRとして茨城新聞掲載3/31及び景観鑑賞候補地調査を実施した。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>